

西粟倉小だより

～ 自信 チャレンジ つながり 自分みつめ ～

令和6年11月12日 NO. 8

<https://www.vill.nishiawakura.okayama.jp/wp/nishiawakurashogakkou/>



陸上記録会で見せた皆の力



10月29日（火）の校内陸上記録会では、5，6年生が自己ベストを目指して頑張りました。この中で、全員の「**挑戦**」が見られました。

そして、試技を行う人に周囲から励ましや称賛の声が上がっていました。試技をする人は、この声を勇気に変えて記録に挑んだことでしょう。ここでは「**つながり**」が見られました。

記録会が終わると、それぞれが自分の挑戦に対する振り返りをしていました。これが「**自分みつめ**」です。この一連の過程を通して、きっと「**自信**」が生まれたことでしょう。

尾久土先生 ようこそ西粟倉小へ

10月21日より、尾久土 翼 先生が本校に教育支援員としてお越しくださっています。尾久土先生は地元の方で、以前は奈義中学校で教育支援員をしておられました。西粟倉の放課後児童クラブにもお勤めであったようです。

今年度末までご勤務くださいます。尾久土先生、どうぞよろしくお願いいたします。

修学旅行で見せた 6年生の力



10月24日（木）、25日（金）と、京都・奈良方面に修学旅行へ行ってきました。いろいろ楽しい思い出ができた旅でした。その中でも、きらりと光る6年生の力が印象的でした。

見学先では、我先にメモをとる6年生。行きかう人々が邪魔にならないように避けて通ってくださるほどでした。

行きかう人々にも挨拶ができました。外国人には「ハロー」の声掛けも。

旅の宿でのレクリエーション。持ち前の仲のよさが活かされ、全員で楽しむことができました。宿に響き渡る笑い声がその証でした。

行程の時間もきちんと守り、とてもスムーズに行動できました。

しっかり学び、しっかり楽しむことができた旅となりました。これが西栗倉小学校が培ってきた力なんだと感じました。

西栗倉の文化祭にて



11月2日（土）、3日（日）は西栗倉村の文化祭でした。たくさんイベントや展示があり、盛大に行われました。その中に、小学校からも図画工作の作品を展示させていただきました。

教室に飾られていた作品が、こうして展示室に並べられると、いつもとは違った感じに見られました。児童の中には、自分の作品を家族に自慢そうに紹介している姿が見られました。

どんな思いを込めながら、児童が作品に向かったのかを想像しながら見ていただけたことでしょうか。来年も頑張ります。

子どもは、子どもの中で育つ

算数の時間に、問題が解けなくて困っている児童がいたそうです。同じグループの児童が説明をするのですが、その子は、動揺もしていたせいか、理解できない様子でした。そこで、別の児童が、自分のノートを見せてあげたそうです。普段のその子のことを考えると、その方が分かってもらえると判断したそうです。おかげで、その子の表情は明るくなったと言います。

これって、いつも一緒にいるからこそ、また、お互いを理解しているからこそできたことですね。

やはり、子どもは子どもの中で育つのだと思います。大人ができるのは、人間関係を生むことができる環境をつくるだけです。その中で、子ども達は、自分なりにどう人間関係をつくるのかを試行錯誤しながら見つけていくのです。それは決して楽しいときばかりではないかもしれませんが、それでも、自分は何ができるのか。そこを子ども自身に考えさせることが大切です。

子どもの成長が1番見える時期

でも、成長は見ようとしなければ見えない

11月はこれまでの成果が表にあらわれ、子どもの成長が1番見える時期だと言われています。

ただし、見えるものだけが成長だとは限りません。見えないから成長してないなんてことはありません。

先の事例もそうですが、何気なく眺めていては気づかない子どもの成長があります。だからこそ、周囲の者がそれを見ようとしなければならぬのです。見るだけではなく、しっかり話も聞くのです。自分の不満を口走るときもあるでしょうが、その気持ちをおさえて感情をコントロールしたことが聞けたら、そこは大きく褒めるチャンスです。成長を見つけようと話を聞いてやれば、きっと何か見つかるはずです。

じっくり見たり、聞いたりして、子どもの成長を見つけてやってほしいと思います。